

お客さま自身では取り付けしないでください。(安全や機能の確保ができません)

- 正しく安全にお使いいただくためにこの説明書をよくお読みください。なお、ご使用前に「1. 安全のために必ず守ること」を確認して、正しく安全にお使いください。
 - お読みになった後必ずすぐ取り出せる場所に保管してください。
 - 不適切な使用により事故が生じた場合、当社では責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- ※転居される場合、次に入居される方にこの説明書をお渡しください。

1. 安全のために必ず守ること

誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。

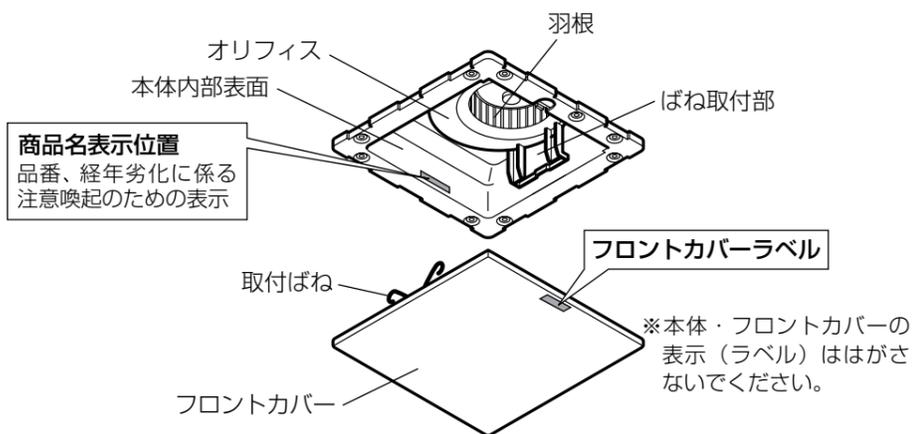
警告	注意
<p>警告 誤った取扱いをしたときに死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの</p> <ul style="list-style-type: none"> 禁止 <ul style="list-style-type: none"> ●ガス漏れに気付いたときは、換気扇のスイッチの入・切をしない 爆発・引火の原因。 ぬれ手禁止 <ul style="list-style-type: none"> ●分電盤のブレーカーをぬれた手で切・入しない 感電の原因。 水ぬれ禁止 <ul style="list-style-type: none"> ●本体・スイッチに直接水やお湯、カビ取り剤などをかけない ショート・感電の原因。 分解禁止 <ul style="list-style-type: none"> ●当社指定の修理技術者以外の方は絶対に分解したり修理、改造は行わない 火災・感電・ケガの原因。 ●お手入れの際は必ず分電盤のブレーカーを切る 感電・ケガの原因。 ●交流 100 V を使用する 火災・感電の原因。 	<p>注意 誤った取扱いをしたときに傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの</p> <ul style="list-style-type: none"> 禁止 <ul style="list-style-type: none"> ●本体はしっかりと取り付けられているか確認する。本体に異常な振動が発生した場合は使用しない 本体・部品の落下によりケガの原因。 ●直接炎のあたる恐れのある場所や油煙・有機溶剤・可燃性ガスのある場所では使用しない 火災の原因。 接触禁止 <ul style="list-style-type: none"> ●運転中は危険ですから、羽根の中に指や物を入れない ケガの原因。 指示に従う <ul style="list-style-type: none"> ●電気工事は必ず電気工事店に依頼する 感電の原因。 ●お手入れの後の部品の取付けは確実に 落下によりケガの原因。 ●お手入れの際は手袋を着用する 着用しないとケガの原因。 ●お掃除は高い所での作業になります。ホコリの落下と足場には十分注意してください。浴槽やカウンターの上に乗って、作業をしない 転倒してケガの原因。 ●長期間で使用にならないときは、必ず分電盤のブレーカーを切る 絶縁劣化による感電・漏電火災の原因。
<p>指示に従う</p> <ul style="list-style-type: none"> ●異常・故障時には、直ちに使用を中止する。そのまま、使用すると発煙・発火、感電、ケガに至る恐れがあります。 <p>〈異常・故障例〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ●スイッチを入れても羽根が回転しない。 ●回転中に異常音や振動がする。 ●回転が遅いまたは不規則。(モーターはメンテナンスが必要な部品です) ●こげ臭いにおいがする。 ●本体据付部に腐食・破損など。 <p>※すぐに分電盤のブレーカーを切って、(株)INAXメンテナンスへ点検修理を依頼してください。</p>	<p>指示に従う</p> <p>安全ブレーカー(NFB) サービスブレーカー(SB) 分電盤 漏電ブレーカー(ELB)</p>
<p>アース確認</p> <ul style="list-style-type: none"> ●アースが取付けられているか確認する 故障や漏電のときに感電の原因。 <p>アースの取付けは販売店、電気工事店にご相談ください。</p>	

2. ご使用にあたってのお願い

(故障をおこさないためにお守りください)

- 換気機能を使用する時は、窓やドアを開けないでください。
※十分な換気ができません。
 - 開閉式ドアガラリ(通気部)の場合は、換気運転時に通気が確保できるようガラリを開としてください。また、ドアガラリが目詰まりしないよう、こまめに掃除機などで清掃を行ってください。
※十分な換気ができません。
 - 入浴時以外は浴槽の水を抜くか、浴槽にふたをしてください。
※入浴後は窓を開けたり、換気扇を使用するなど浴室にこもった湿気を屋外へ排出してください。
※浴室にこもった湿気は、悪臭やカビの原因となります。
 - 本体内部の羽根等機械部分に無理な力をかけないでください。
※故障の原因となります。
 - 吸込口をタオルなどでふさがないでください。
※故障の原因となります。
 - スイッチは浴室の外(洗面室など)に取り付けられているか確認してください。
※故障の原因となります。
 - 粉末クレンザー・磨き粉・ラッカー・シンナー・アルコールまたは塩酸、アンモニア、苛性ソーダなどの薬品は使用しないでください。また、サンドペーパーやタワシの使用も光沢を失わせキズを付けるのでおやめください。
※キズ、変色等の原因となります。
 - 浴室で使用する洗剤、殺虫剤、カビ取り剤、その他の薬品類は、容器などに記載の注意表示にしたがって正しく使用してください。
※使い方を誤ると、人体に悪影響を及ぼしたり、漏水や故障の原因となることがあります。
 - 浴槽に温泉を入れて使わないでください。
※故障の原因となります。
 - 洗面室ドアのガラリや給気口があるか確認してください。
※効果的な換気を行うために必要です。
- UF-27Aの場合……換気終了後にスイッチを切ってください。**
24時間連続換気はしないでください。
※長時間の連続使用は故障の原因となります。

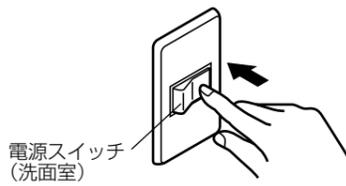
3. 各部のなまえ



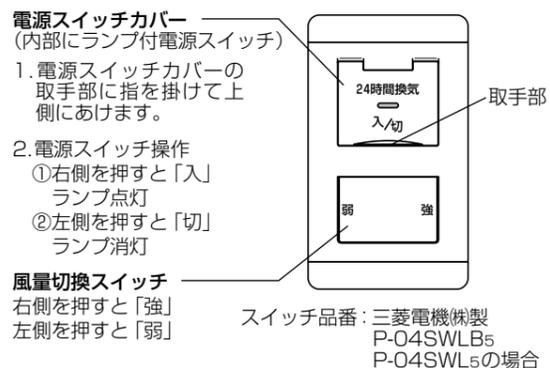
4. 使用方法

UF-27Aの場合

- 壁のスイッチで「入(運転)」、「切(停止)」に切り換えられます。



UF-28A(常時換気機能付タイプ)の場合



- スイッチにより、ランプが点灯して運転中がわかるものもあります。

ONE POINT ワンポイント

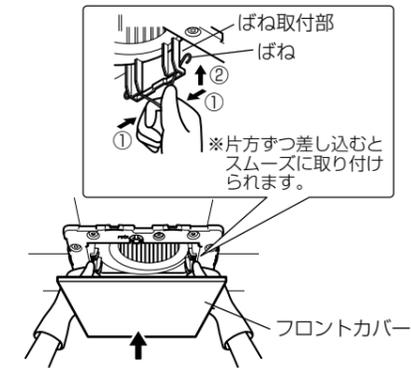
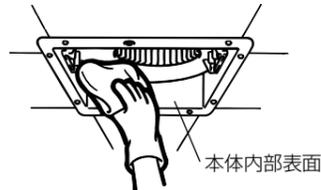
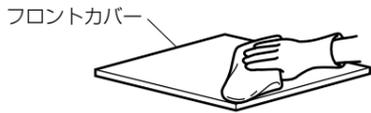
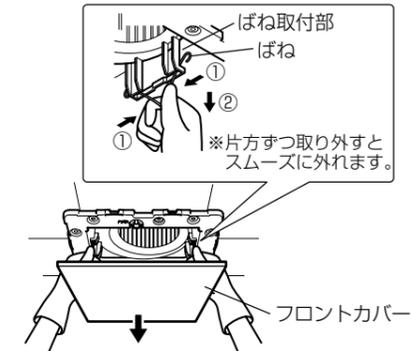
- 冬場や湿気が多いときなどにフロントカバーから結露した水が落下することがありますが異常ではありません。
外気温と室内条件によって結露した水が落下することがあります。また、入浴剤などをご使用の場合は色のついた結露水になる場合があります。
- ドアの開閉や外風によりシャッター閉じ音が聞こえる場合がありますが異常ではありません。
換気扇には外気侵入を抑えるため、風圧式シャッターを設けています。気密性が高くなる分急激なドアの開閉や外風でシャッター閉じ音が聞こえる場合があります。
- UF-27Aの場合、入浴中は、換気運転を停止することをおすすめします。
入浴中に換気運転をすると、フロントカバーから結露した水が落下することがあります。また、ドアガラリからの冷たい空気により肌寒く感じる場合があります。
- UF-28Aの場合、入浴後湯を落すか、浴槽にふたをして換気扇を「強」運転し、湿気を排出してから常時換気運転「弱」を行ってください。また、浴室・洗面室の湿気などを急速に排出したいときは「強」運転に切り換えることをおすすめします。
結露・カビの発生を抑制して浴室安全に役立ちます。なお、常時運転は住宅全体の換気のために必要です。できるだけ停止させないでください。

5. お手入れのしかた

フロントカバーや羽根にホコリなどが付着すると風量低下や異常音発生の原因になります。下記を目安にお手入れしてください。

月に1度

- ①運転を停止し、分電盤のブレーカーを切ります。
- ②フロントカバーを引き下げて、ばねを狭めながら取り外します。



ONE POINT ワンポイント

フロントカバーの裏側に結露水が溜まっている場合があります。自分とは反対方向に傾け、溜まった結露水を落として取り外してください。

- ③フロントカバーぬるま湯に浸してかたく絞った布でやさしくふきとります。

本体

適量に薄めた浴室用合成洗剤(中性)を含ませ、かたく絞った布でやさしくふきとります。洗剤が残らないように乾いた布で洗剤をふきとります。

ONE POINT ワンポイント

羽根にホコリなどが付いている場合は、細い隙間ブラシなどで取り除きます。羽根やオリフィスは外さないでください。(振動・騒音の原因)

- ④フロントカバーのばねを狭めながら、ばね取付部に差し込み、フロントカバーを押し上げて取り付けます。

汚れが目立ってきたら

- ①運転を停止し、分電盤のブレーカーを切ります。
- ②フロントカバーを引き下げて、ばねを狭めながら取り外します。
- ③適量に薄めた浴室用合成洗剤(中性)をやわらかい布やスポンジに含ませて、やさしくふきとります。洗剤が残らないように湿らせた布で洗剤をふきとります。
- ④フロントカバーのばねを狭めながら、ばね取付部に差し込み、フロントカバーを押し上げて取り付けます。

6. 修理を依頼する前に

よくあるお問い合わせ

現象	原因	確認・対応方法
スイッチを入れても動かない	停電、または分電盤のブレーカーが切れている。	停電の場合は回復を待ちます。分電盤のブレーカーが切れている場合はブレーカーを入れます。
停止中に異常音が出る	急激なドアの開閉や外風により風圧式シャッターが閉じる。	換気扇には風侵入を抑えるため、風圧式シャッターを設けています。
運転中に異常音や振動がする	フロントカバーが正しく取り付けしていない。	フロントカバーを正しく取り付けます。
	フロントカバーや羽根にホコリが付着している	清掃をしてください
換気量が不足する 浴室に水滴が多く付いている	屋外フードにホコリが堆積している。	清掃をしてください。
	窓やドアが開いている。	窓やドアを閉めてください。
	浴室ドアの通気経路が目詰まりしている。開閉式ガラリ(通気経路)の場合、ガラリが閉じている。	通気経路の清掃をしてください。ガラリを開としてください。
フロントカバーから水滴が落ちてくる	洗面室ドアのガラリや給気口が閉じている。	洗面室ドアのガラリや給気口を確認してください。
	冬場や湿気の多いときなどにフロントカバーから水滴が落ちる。	異常ではありません。頻繁に水滴が落ちてくる場合は清掃をしてください。

※ダクト配管が長くなっていたり、曲がり部分が多い場合、換気扇への負担が大きくなり、回転数が上がって風切り音が大きくなりますが異常ではありません。
※取扱説明書どおりに使用されても、まだ不明な点がある場合は当社お客様相談センターにご相談ください。

7. アフターサービスについて

ご相談窓口・修理窓口のご案内

保証と保証期間について

天井換気扇(浴室用)は設置されているシステムバスルームの保証及び保証期間内に基づいて保証されます。保証期間内でも当社システムバスルーム以外に設置された場合、保証の対象外とさせていただきます。(免責事項)

部品の保有期間について

補修用性能部品の最低保有期間は、この商品の製造打切後6年です。保有期間経過後の修理では、該当する部品がない場合がありますのでご承知願います。
※補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理を依頼される時

修理を依頼される時は再度本書をよくお読みいただき、ご確認のうえなお異常のあるときはお買い求めの販売店またはLIXIL修理受付センターに修理を依頼してください。

保証期間中の修理	保証期間経過後の修理
保証期間内はシステムバスルームの取扱説明書の保証書の規定にしたがって修理させていただきます。	修理によって機能が維持できる場合は、お客さまのご要望によって有料で修理いたします。料金の内訳は、技術料+出張料+部品代です。

ご連絡いただきたい内容

1. おなまえ・おところ・電話番号
2. 商品名・品番 ←「3.各部のなまえ」参照
3. 管理ナンバーシールの番号 ←システムバスルームの取扱説明書より確認方法を参照
4. 取付年月日
5. 故障内容・異常の状況(できるだけ詳しく)
6. 訪問ご希望日

株式会社 LIXIL

使い方・お手入れ方法など、商品についてのお問い合わせは

お客様相談センター

TEL ☎ 0120-179-400

FAX ☎ 0120-179-430

受付時間 平日 9:00~18:00 土日・祝日 9:00~17:00
(ゴールデンウィーク、夏期、年末年始の休みは除く)

修理のご依頼は(本文の「アフターサービスについて」をお読みください)

LIXIL修理受付センター

TEL ☎ 0120-179-411

FAX ☎ 0120-179-456

受付時間 9:00~20:00(365日受付)

- 当社は、当社取扱商品のユーザーさまおよび流通業者さま等の個人情報を商品納入にあたって取得し、将来にわたる品質保証、メンテナンスなど、当社プライバシーポリシーに記載の目的のために利用させていただきます。個人情報の取扱いについての詳細は、当社ホームページの「プライバシーポリシー」をご覧ください。

インターネット・ホームページ・アドレス <http://www.lixil.co.jp/>

8. 仕様

電圧 100V

形名	消費電力(W)		風量(m³/h)		騒音(dB)		質量(kg)	
	50Hz	60Hz	50Hz	60Hz	50Hz	60Hz		
UF-27A	10.5	12.5	85	85	30	30	1.3	
UF-28A	強運転		10.5	12.5	85	85	30	1.5
	常時換気(弱)		4.5	5.0	50	50	18	

※特性はJIS C 9603に基づく開放時の値です。

※騒音値は無響室での測定値です。実取付状態では反響音などを含まためこれより高くなります。

長期使用製品安全表示制度に基づく本体表示について

【本体への表示内容】

※経年劣化により危害の発生が高まる恐れがあることを注意喚起するために電気用品安全法で義務付けられた以下の内容を本体に表示しています。



【製造年】: 本体に西暦4ケタで表示してあります。
【設計上の標準使用期間】15年
設計上の標準使用期間を超えてお使いいただいた場合は、経年劣化による発火・けが等の事故に至る恐れがあります。

【設計上の標準使用期間とは】

※運転時間や湿度など、標準的な使用条件に基づく経年劣化に対して、製造した年から安全上支障なく使用することができる標準的な期間です。

※設計上の標準使用期間は、無償保証期間とは異なります。また、偶発的な故障を保証するものではありません。

■標準使用条件 JIS C 9921-2による

環境条件	電圧	単相 100V	機器の定格電圧による
	周波数	50Hz/60Hz	
温度	湿度	20℃	JIS C 9603参照
	湿度	65%	
設置条件	標準設置	機器の取付説明書による	
	本取扱説明書の「8.仕様」による		
負荷条件	換気時間(風量)		本取扱説明書の「8.仕様」による
	1年間の使用時間	換気時間 ^{a)}	
想定時間	台所	2410時間/年	
	居室	2193時間/年	
	トイレ	2614時間/年	
	浴室	1671時間/年	

注^{a)} 常時換気の場合は、8760時間/年とする。

- 「経年劣化」とは長期間にわたる使用や放置に伴い生ずる劣化をいいます。